



# 恵田小新聞

令和2年  
10月  
第158号



「恵田っ子が大好きです」

木下 祥子先生

いつも元気で明るく、ニコニコ笑顔の恵田っ子が大好きです。このようなコロナの事態で、普段とは違った授業形態となっていますが、できることで最大限に工夫をし、ハロウィンやクリスマスなど季節の楽しいイベントなども積極的に取り入れて、英語の楽しさを伝えられる授業を展開していきたいと思っています。



「恵田小大好き」

イマヌエル テケ先生

わたしは、自然が大好きです。だから、自然がいっぱいの恵田小学校に来るのはとてもハッピーです。恵田小学校は人数も少ないので、全員の名前がわかります。あいさつの声が大きく、みんな元気です。一、二年生が「テケちゃん」と呼んでくれることも気に入っています。これからも、

Study hard. Don't give up!

## 稲刈りしたよ

「いねかり」 四年 中島 遙希

いねかりの日は、天気がよくとても暑かったです。地いきの方がやり方を教えてくださったので、いねをかってたばねて、ほす作業までスムーズにできました。お母さんも手伝いに来てくれてとても楽しかったです。

「笑顔の稲刈り」 五年 飯塚 遥海

私は、恵田っ子が楽しそうに汗をながしながら稲刈りを行っている様子が印象に残りました。初めてする一年生、ベテランの六年生、手伝いをする四・五年生、上達していく二・三年生、共通して全員笑顔で、楽しくやっています。私は来年で最後なので、その時も楽しくやりたいと思います。

「稲刈り」 保護者 二村 愛

田んぼに行くくと恵田っ子が揃って並んでいます。まずその姿に感動しました。今年度初めての行事だったからでしょうか。説明を聞いて実際に稲刈りに挑戦するもなかなかうまくいきません。でも、こまっっている子がいるとすぐに教えに来てくれる恵田っ子。さすが稲刈り名人。後半は黙々とすがいで稲を束ねていました。翌日からだに痛みがくることも気にせず。

「温かさに囲まれて」保護者 朝井 未来

生まれも育ちも恵田の私。何十年ぶりに手作業での稲刈りをし、何十年経っても変わる事のない地域の方々の温かさを実感しました。優しく低学年の児童に教えてあげる高学年の姿。お兄さん、お姉さんを見習って頑張る子の姿を見て、とても温かい気持ちになりました。この地域の良さを感じる稲刈りとなりました。

## 小学校水泳大会



力泳する恵田っ子



代表選手たち

「初めての水泳大会」 五年 二村 稜也  
ぼくにとって初めての水泳大会なのでとてもきんちようしていました。先生に「リラックスして。」と言われたので深呼吸をしました。結果は三位でくやしかったです。来年はもっと上位を目指して頑張りたいです。

「がんばった水泳大会」 六年 鈴木 賀久  
ぼくは、初めての水泳大会に出場しました。五年のときは補欠でしたが、今年は五十メートル平泳ぎの選手として出場することができました。大会では、今までのベストタイムを一秒以上もちめることができました。とてもきん張したけど、楽しかったです。

「記憶に残る水泳大会」

保護者 家永 里美

入場制限のなかった観客席、静かなプール。例年とは全く違った水泳大会。でも子供達の力強い泳ぎは少しも変わりません。

「がんばれ！もう少し。」心の中で精一杯応援しながら子供の泳ぎを見守りました。最後まで全力で泳ぎ切った子供の姿に大きな成長を感じ、御指導下さった先生方に感謝です。